



令和3年12月16日

四 国 運 輸 局

四国運輸局管区内の交通事業者の令和2年以降の輸送実績等について

- 令和3年度上半期は昨年同様に厳しい状況。
- 9月以降各モードで回復の兆しが見られるものの、感染症拡大前と比べると依然として厳しい状況

この度、四国運輸局では、令和2年以降今年度11月までの輸送人員及び輸送収入（新型コロナウイルス感染症拡大前の実績比、一部推計値を含む。）の推移を取りまとめました。

感染症拡大の影響を受け、鉄道・バス・タクシー・旅客船の各モードの輸送人員及び輸送収入については、令和2年4～5月を底として大幅に減少し、以降は感染症の拡大状況に合わせて回復と減少を繰り返してきました。

令和3年度上半期についても同様でしたが、令和3年9月以降、各モードの輸送人員及び輸送収入には回復基調が見られています。それでも未だ感染症拡大前と比べると厳しい状況が続いています。

【添付資料】

- ・ 四国運輸局管区内の交通事業者の輸送人員及び輸送収入等の推移について（感染症拡大前後比）

連絡先

四国運輸局 交通政策部 交通企画課
手嶋、山本

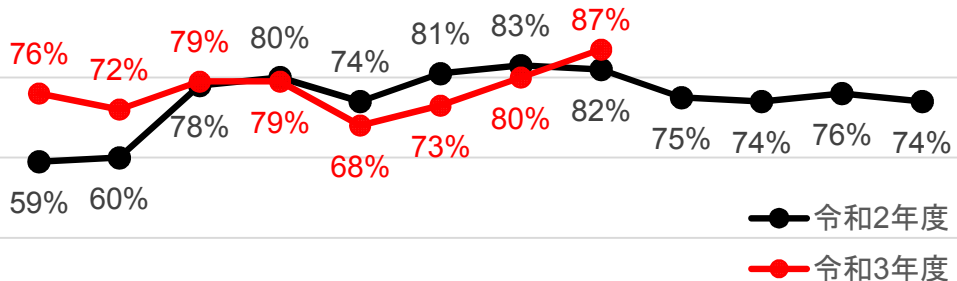
T e L : 087-802-6725

地域鉄道・JR四国の輸送動向の推移

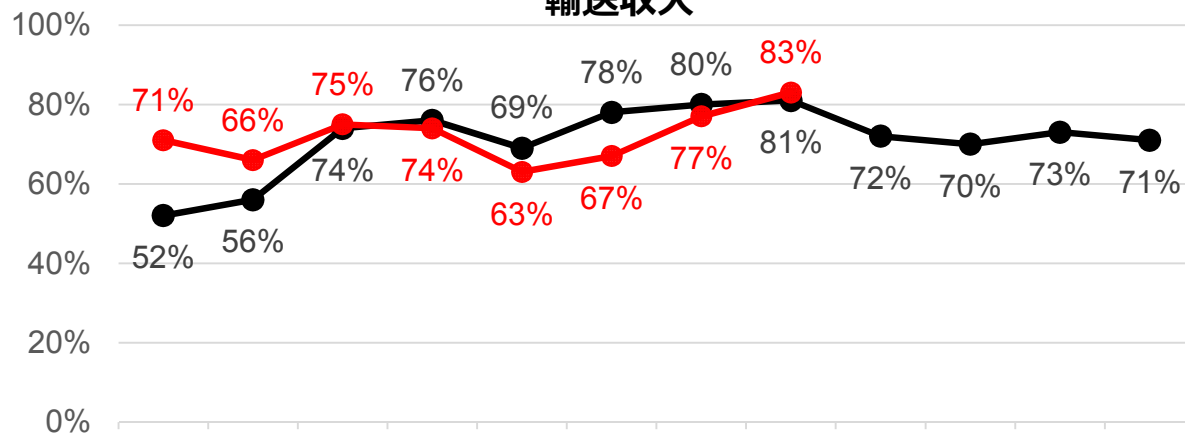
- ◆今年度上半期の地域鉄道の輸送人員及び収入は6～7割台で推移（感染症拡大前比）。9月以降回復基調がみられる。
- ◆今年度上半期のJR四国の輸送人員は6～7割台、輸送収入は3～5割台で推移（感染症拡大前比）。9月は回復基調が見られる。

地域鉄道

輸送人員



輸送収入



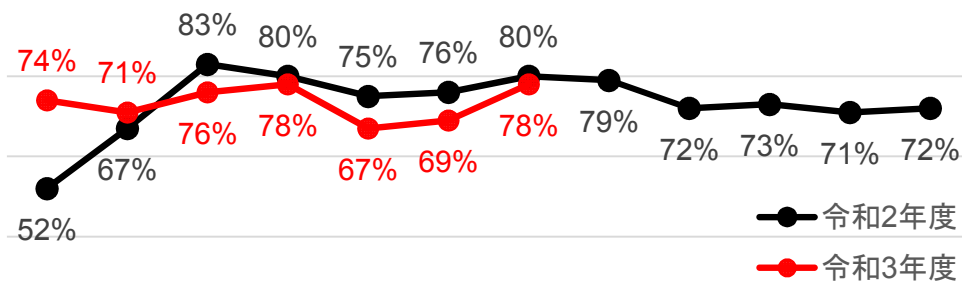
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

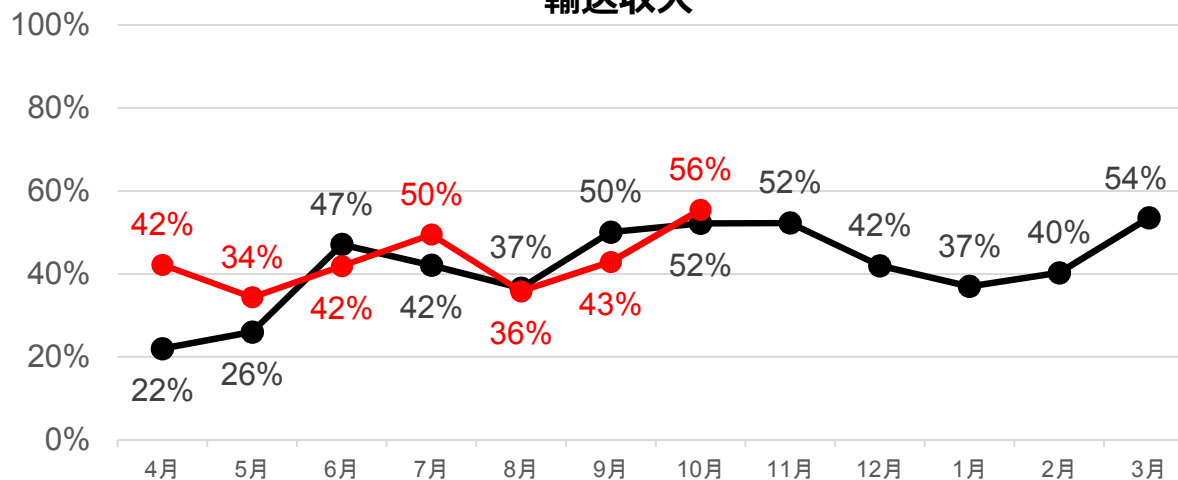
※四国管内の鉄軌道事業者（5社）からの報告値を基に四国運輸局が作成。いずれも各社実績合計値を平成29年～令和元年の同月の平均値と比較した割合。
ただし、令和3年11月の事業者報告値には推計値を含む。

JR四国

輸送人員



輸送収入



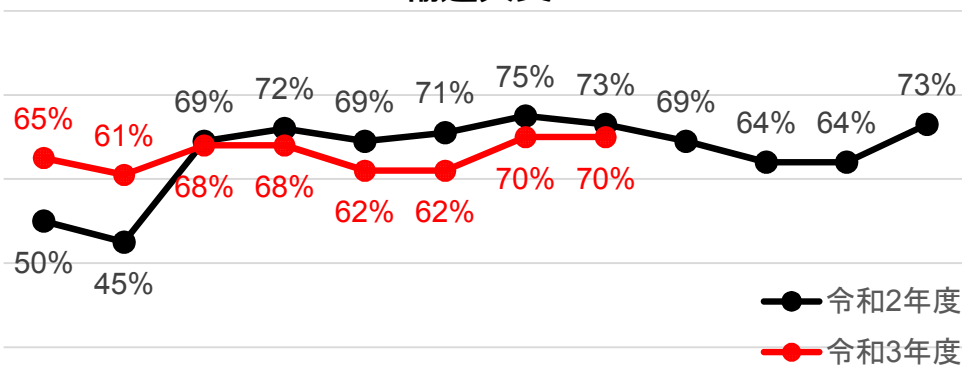
※輸送人員は「四国における運輸の動き」、輸送収入はJR四国公表の「鉄道営業概況」を基に四国運輸局が作成。
いずれも平成29年～令和元年の同月の平均値と比較した割合。

乗合バス・高速バスの輸送収入・輸送人員の推移

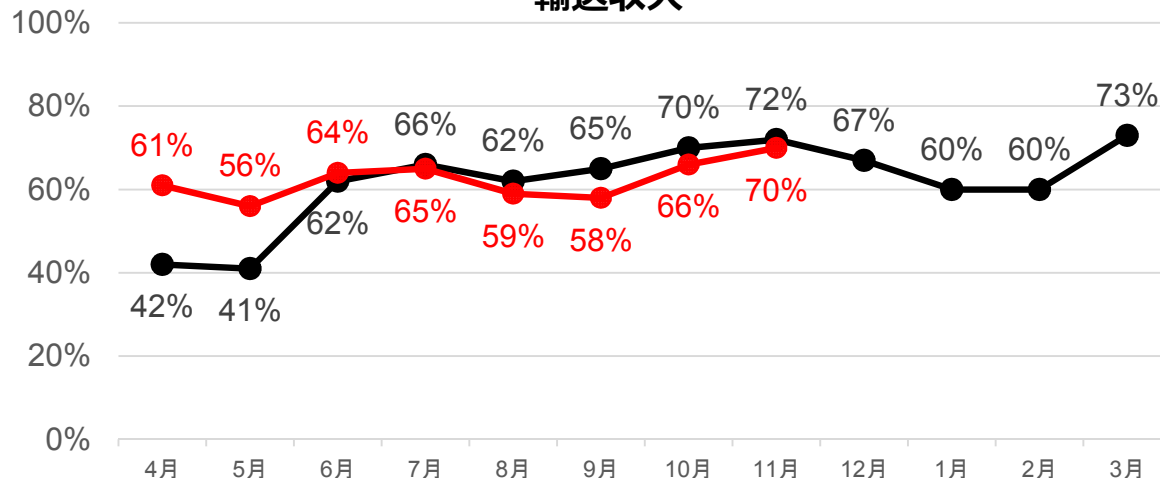
- ◆今年度上半期の乗合バスの輸送人員は6割台、輸送収入は5～6割台で推移（感染症拡大前比）。いずれも10月以降回復基調がみられる。
- ◆今年度上半期の高速バスの輸送人員は1～2割台、輸送収入は1～2割台で推移（感染症拡大前比）し、低調。いずれも10月以降回復基調がみられる。

乗合バス

輸送人員



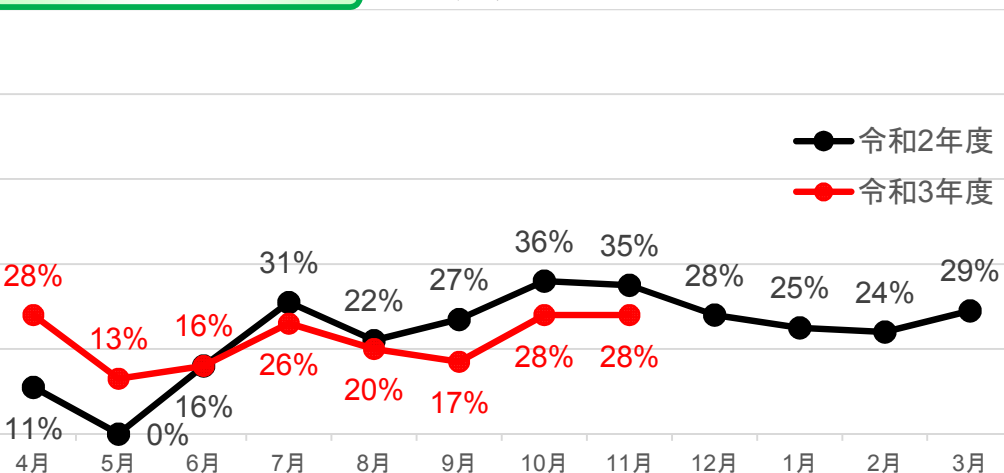
輸送収入



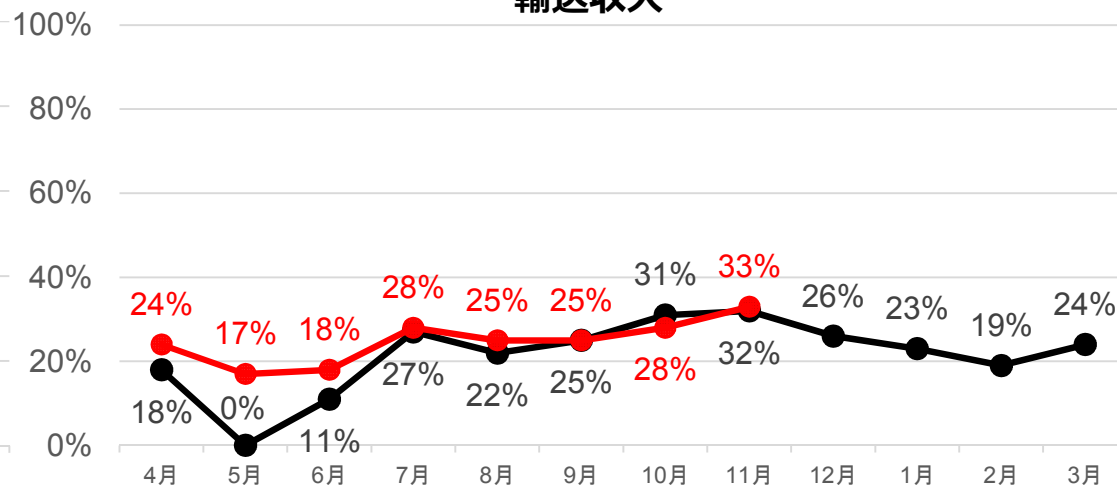
※四国管内の乗合バス事業者（7社）からの報告値を基に四国運輸局が作成。いずれも各社実績合計値を平成29年～令和元年の同月の平均値と比較した割合。
ただし、令和3年11月の事業者報告値には推計値を含む。

高速バス

輸送人員



輸送収入



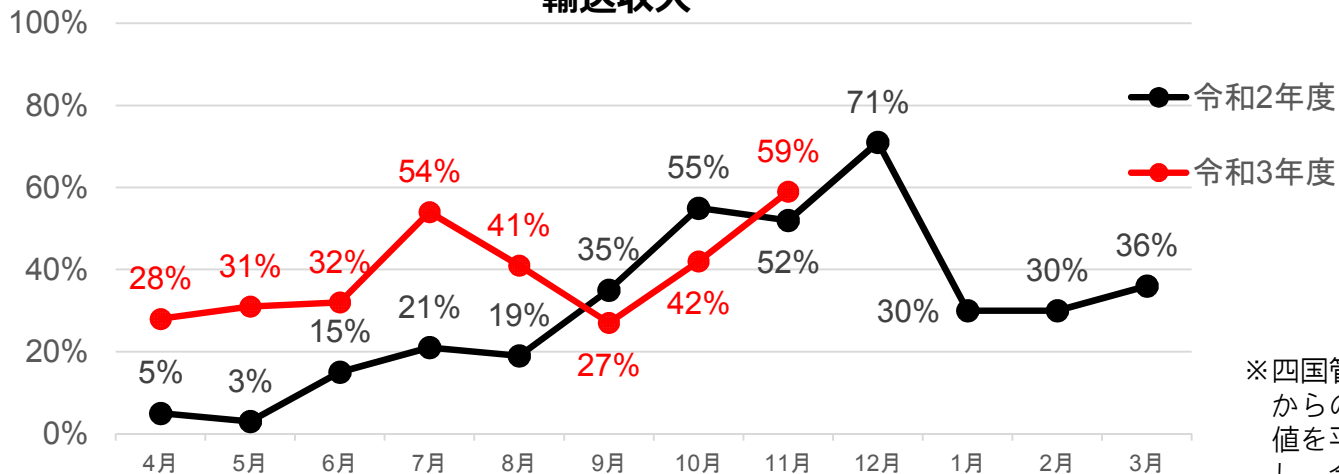
※四国管内の高速バス事業者（5社）からの報告値を基に四国運輸局が作成。いずれも各社実績合計値を平成29年～令和元年の同月の平均値と比較した割合。
ただし、令和3年11月の事業者報告値には推計値を含む。

貸切バス・タクシーの輸送収入・輸送人員の推移

- ◆今年度上半期の貸切バスの輸送収入は2～5割台で推移（感染症拡大前比）。10月以降回復基調がみられる。
- ◆今年度上半期のタクシーの輸送人員は4～6割台、輸送収入は5～6割で推移（感染症拡大前比）。10月以降回復基調がみられる。

貸切バス

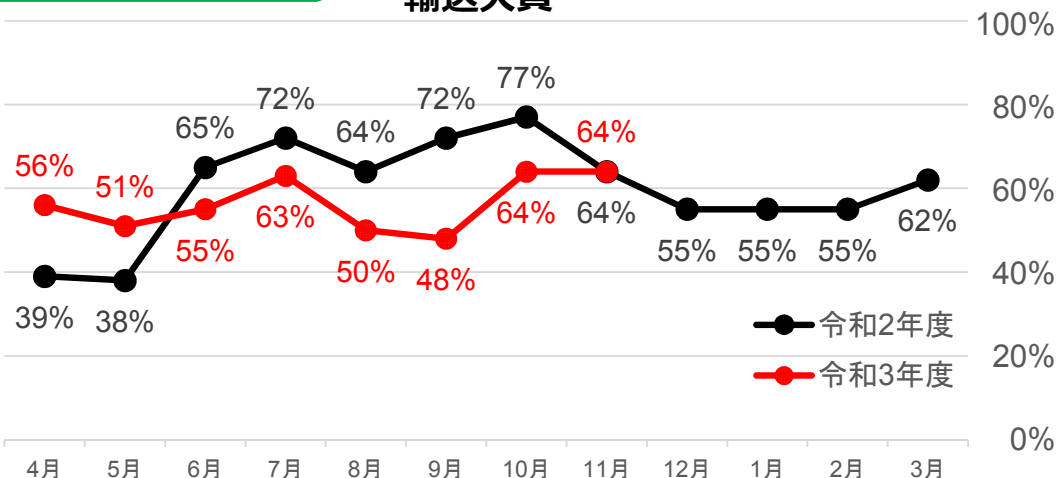
輸送収入



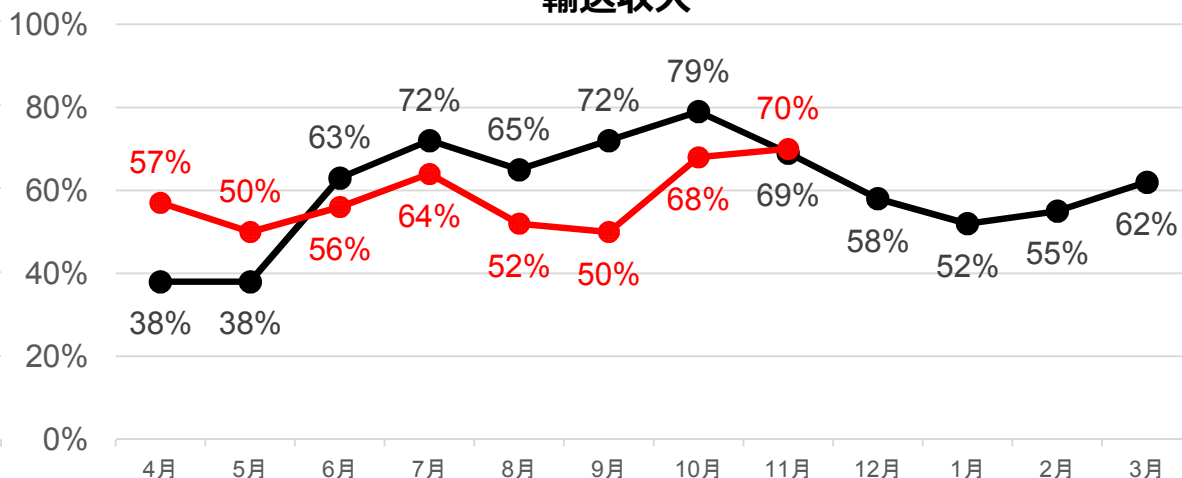
※四国管内の貸切バス事業者（6社。うち1社は令和3年1月から）からの報告値を基に四国運輸局が作成。いずれも各社実績合計値を平成29年～令和元年の同月の平均値と比較した割合。ただし、令和3年11月の事業者報告値には推計値を含む。

タクシー

輸送人員



輸送収入



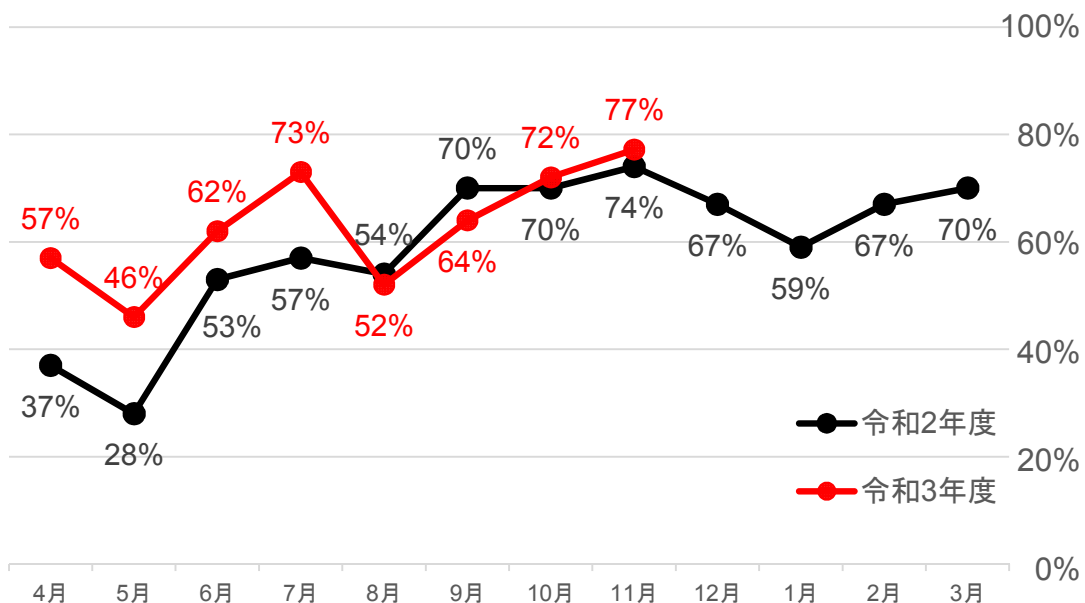
※四国管内のタクシー事業者（21社）からの報告値を基に四国運輸局が作成。いずれも各社実績合計値を令和元年の同月値と比較した割合。ただし、令和3年11月の事業者報告値には推計値を含む。

旅客船の輸送収入・輸送人員の推移

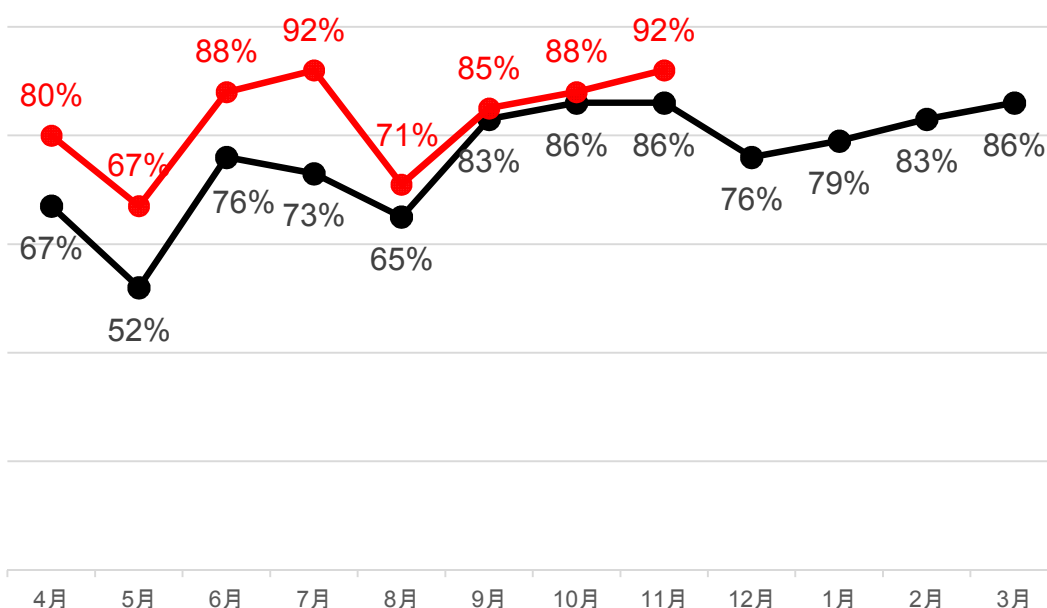
◆ 今年度上半期の旅客船（フェリー、高速船、離島航路）の輸送人員は4～7割台、輸送収入は6～9割台で推移（感染症拡大前比）。いずれも9月以降回復基調がみられる。

旅客船

輸送人員



輸送収入



※四国発着の旅客船事業者（41社45航路、令和3年4月から40社44航路）からの報告値を基に四国運輸局が作成。

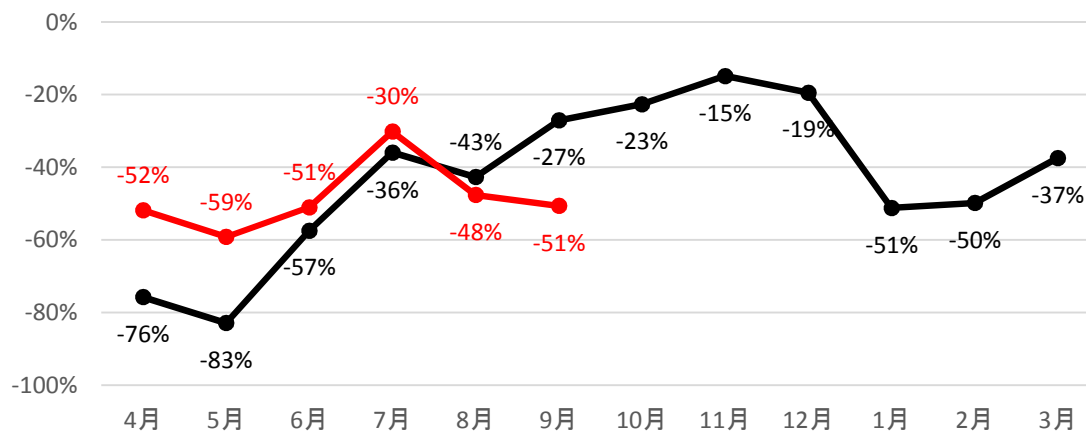
いずれも各社実績合計値を平成29年～令和元年の同月の平均値と比較した割合。ただし、令和3年11月の事業者報告は速報値（輸送人員35社39航路、輸送収入31社33航路の実績）による。

延べ宿泊者数の推移

- ◆ 今年度上半期の延べ宿泊者数の動向については、感染症拡大前比で4～7割程度で推移。
- ◆ 緊急事態宣言等が発出された4～5月、8～9月において、特に落ち込みが大きい。
- ◆ 10月以降は、各県の県内旅行割引の再開等により、回復基調となる見込み。

観光(延べ宿泊者数)

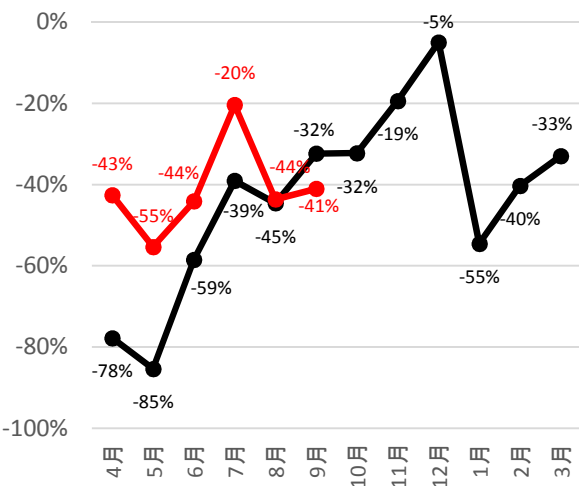
四国



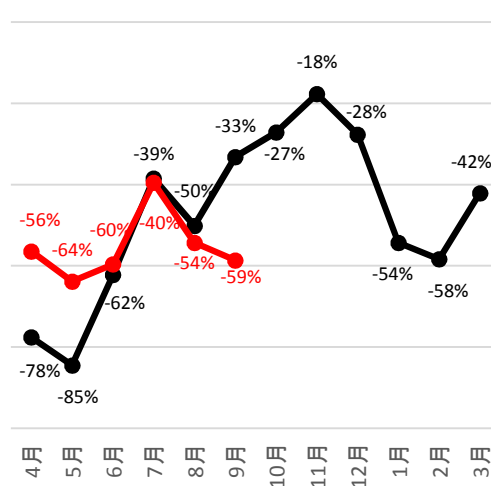
※平成29年～令和元年の同月の平均値と比較した割合。ただし、令和3年は速報値による。

● 令和2年度 ● 令和3年度

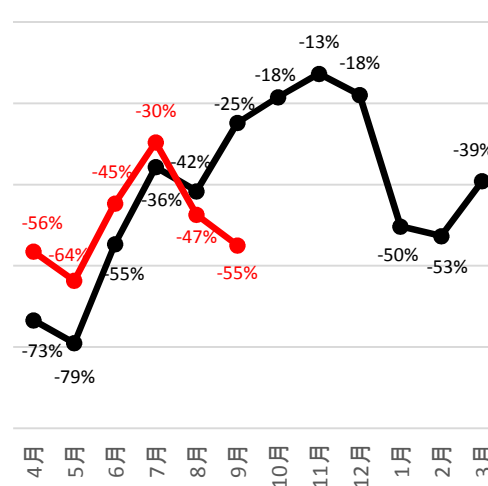
徳島県



香川県



愛媛県



高知県

